

レジメン登録フォーマット

申請年月日		使用開始日	
登録診療科	血液内科	申請医師	化学療法委員会承認年月 平成 22年 3月
レジメン名	ALL202-U 維持療法4		
疾患名	急性リンパ性白血病	適応の備考	麻痺性イレウスが生じたら、次回以降、このレジメンを使用しない。
適応分類	維持・強化療法		
1コース日数	28 日間	総コース数	コース 催吐性リスク day8:中等度、それ以外は最小度
抗がん剤投与量・投与日	オンコピン1.5mg/m <sup>2</sup> day1.8.15、ピノルビン25mg/m <sup>2</sup> day8、ロイナーゼ10000単位/m <sup>2</sup> day1.8.15、プレドニン錠40mg/m <sup>2</sup> day1-14		

治療スケジュール・投与日程(投与日は●) (day)

投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	#	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
1	主ルート	グラニセトロン注ハック1mg/50mL	1 本 / body	30分								●																				
	点滴静注		/																													
2	主ルート	生食50mL	1 本 / body	30分	●															●												
	点滴静注	ルートキープ用	/																													
3	主ルート	生食100mL	1 本 / body		●							●								●												
	点滴静注	オンコピン注	1.5 mg / m <sup>2</sup>	30分	●							●								●												
最大投与量は2mg/body/回。																																
4	主ルート	生食100mL	1 本 / body									●																				
	点滴静注	ピノルビン注	25 mg / m <sup>2</sup>	60分								●																				
5	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5分	●							●								●												
	点滴静注		/																													
6	なし	5%ブドウ糖液20mL	0.1 本 / body		●							●								●												
	筋肉注射	ロイナーゼ注	10000 単位 / m <sup>2</sup>		●							●								●												
全量2mL以下とする。																																
7	なし	プレドニン錠5mg	40 mg / m <sup>2</sup>		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●													
	—		/																													
分1 医師の指示通り																																

【投与上の注意】

- オンコピン: Grade3以上の末梢神経障害の時は減量または中止
- オンコピン: T-Bilが2.0mg/dL以上では中止。1.5mg/dL以上2.0mg/dL未満で半量投与
- オンコピン: 投与時にイレウスが見られる場合は中止
- ロイナーゼ: ロイナーゼ中止例には、代わりにロイケリンを50mg/m<sup>2</sup>(経口)で28日間投与する
- ロイナーゼ: 生食で直接溶解すると白濁するおそれがあるので5%ブドウ糖液を使用する
- ロイナーゼ: 筋注は全量を2mL以下とする
- ロイナーゼ: 5%ブドウ糖液での溶解後の安定性は、3時間(筋注)、注射用水での溶解後の安定性は24時間(筋注)